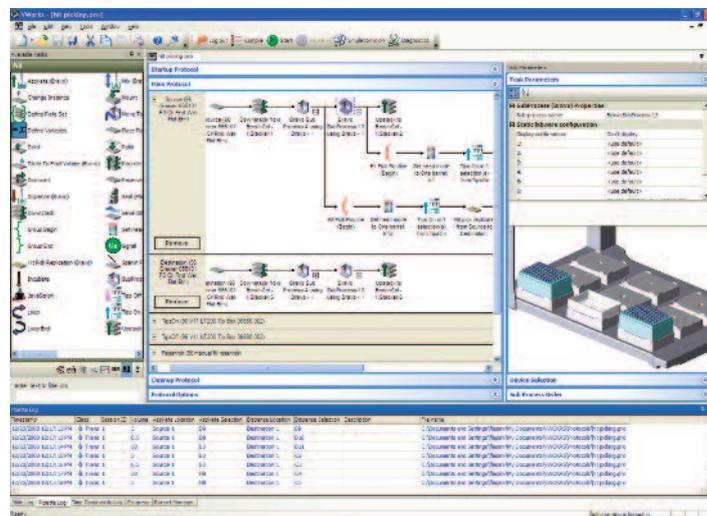


Agilent VWorks Automation Control Software

Data Sheet



アプリケーション

1. 創薬
2. ゲノミクス
3. プロテオミクス
4. 細胞生物学
5. ADME/Tox

はじめに

Agilent VWorks Automation Control ソフトウェアは、プロセス全体の自動化を可能にする完成された信頼性の高いソリューションです。

VWorks ソフトウェアは、ロボット、リキッドハンドラー、リーダー、ウォッシャー、その他さまざまなデバイスを統合し、ハイスループットかつ、フレキシブルなソリューションを提供するシステムコントロールプラットフォームです。わかりやすいグラフィックユーザーインターフェイスによって、ユーザーはプロトコルの作成、デバイスの接続やコンフィグレーション、およびプロトコルの進行や状況確認をより簡単に行うことができます。また、スタンドアロンデバイス、ワークステーション、システムまですべて VWorks でコントロールすることができ、ユーザートレーニングの負担を軽減し、またシステム拡張により生産性を最大限に引き出すことができます。



Agilent Technologies

特長と利点

柔軟性と拡張性

- ・既存のシステムに対し、簡単に新しいデバイスを追加することが可能
- ・新しいスタンダードへの順応性
- ・デバイスとの相互やりとりによる最適なプロトコルの進行

堅牢性

- ・インテリジェントなエラー処理とリカバリ
- ・デバイスブーリングサポート
- ・21CFR Part 11 に準拠

拡張性

- ・任意のプログラミング言語による新しいデバイスとのインテグレーション
- ・外部ラボ情報管理システム (LIMS) とのデータ通信
- ・複雑でかつ柔軟なプロトコルの進行

新機能

プロトコルの同時実行

複数のプロトコルを同時に実行することで、リソース使用率とスループットを最大化します。すでにランニング中のプロトコルに対し、別のプロトコルをスケジューリングしたり、あらかじめ設定した日時に複数のプロトコルを走らせたりすることが可能です。

ガントチャート

プロセス、プレートインスタンス、およびデバイスのリアルタイムステータスのガントチャートを視覚的に監視することでボトルネックを識別して除去し、パフォーマンスとスループットを向上させます。

Hit Pick ウィザード

Hit Pick ウィザードによりプロトコルの作成を容易にします。入力リストに基づいてチェリーピッキングを自動化し、強力なウィザードを利用してプレートレプリケーションやダイリューションを簡単にプログラムします。

Time Constraints

2つのタスク間の時間を指定することで、スピードが重視されるアッセイでのタスク間のタイミングを制御します。指定されたタイミングに従ってプロトコルを進行します。

システム状態エディタ

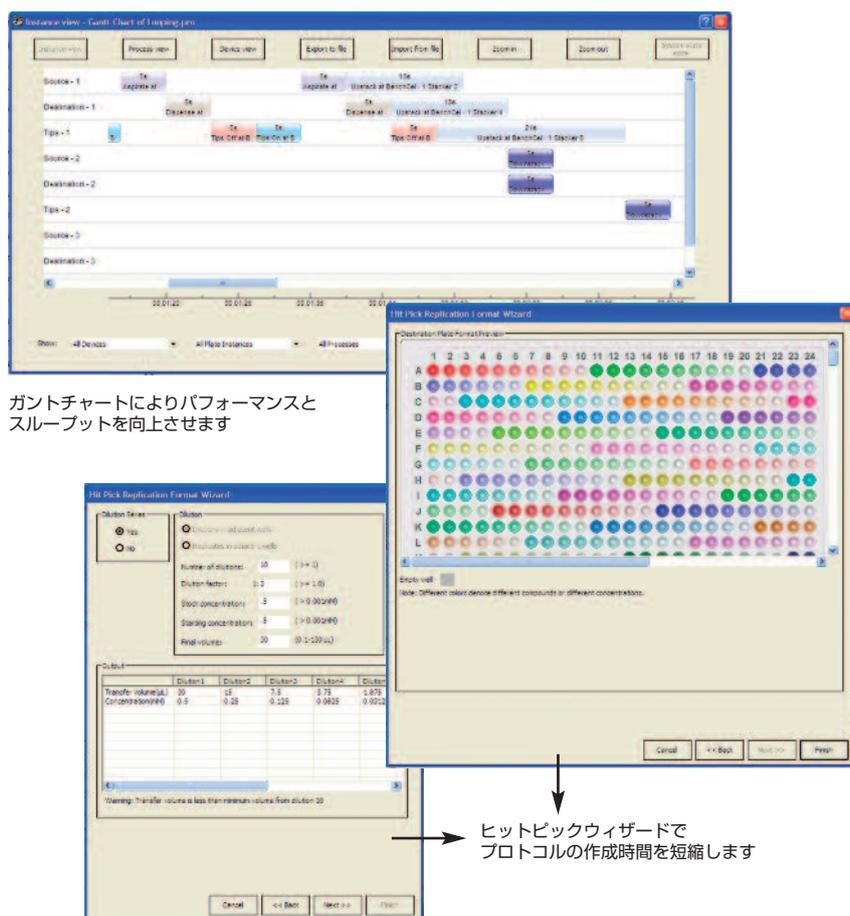
特に、複雑なプロトコルにおいて、デッドロックから回復し、プロトコルを途中から再スタートします。デッドロック時に、システムは、デバイスのステータス、ラボウェアの場所、およびエラーの原因を含む分析の状態を自動的にキャプチャします。この情報により、ユーザーはラボウェアを移動し、デバイスのステータスとラボウェアの場所を編集およびリセットして、エラーを迅速に解決します。また、ストップした時点から再びプロトコルを正常にスタートできます。

インポートおよびエクスポートツール

簡単なツールで、ファイルのバックアップ、トラブルシューティング、およびファイル転送を容易にします。プロトコルおよびデバイスファイル、プレートの設定、リキッドコントロール設定、バーコードファイル、ログファイルなどを1つの圧縮ファイルでインポートおよびエクスポートします。

エラーハンドリングライブラリ

中断回数を削減し、無人運転時間を最大化します。事前にエラーやそれに対する対応方法をエラーハンドリングライブラリにロードすることで、エラーが発生した場合にリカバリ操作が自動的に実行されます。



ガントチャートによりパフォーマンスとスループットを向上させます

ヒットピックウィザードでプロトコルの作成時間を短縮します

性能

Data Driven Control

リアルタイムで提示される動的データに基づいてプロトコルを実行し、自動化を促進します。ランニング中に刻々と変化する条件に対しても柔軟に対応し、リソースを最大限に活用します。その時々に応じて柔軟にプロトコルをハンドリングします。

Event Driven Protocols

あらかじめラグタイムを設定する必要がなく、プレートやシステムの空き状況に応じてすぐにタスクを開始します。

True Device Pooling

各々のタスクを適切なデバイスにルーティングすることで、信頼性と無人運転時間を向上させます。同じタイプの複数のデバイスがシステムで使用可能な場合、ソフトウェアはボトルネックの発生時に使用可能なデバイスを自動的に検出し作動させます。

プロトコルシミュレーション

同時に処理するプレート数を最適化し、プロトコルシミュレーションでデッドロック、ボトルネック、および効率の悪い部分を修正します。シミュレーション時にガントチャートを使用して、スループットを抑制しているタスクを識別し、作業効率を向上させます。

Enterprise Integration

既存の使い慣れた情報科学インフラストラクチャを利用します。バーコード、サンプル、ラボウェア、リキッド、ユーザー、およびワークフローを管理するための LIMS と直接通信することができます。

デバイスドライバ

VWorks は、任意のサードパーティ機器とのインテグレーションをサポートし、自動化システムのすべてのコンポーネントへの直接的なアクセスを可能にします。

仕様

システム要件

Service Pack 3 を適用した Microsoft Windows XP、または Service Pack 1 を適用した Microsoft Windows Vista

2 GHz 以上の 32 ビット (x86) プロセッサ、マルチコアを推奨

2 GB のシステムメモリ

40 GB のハードドライブ容量
(10 GB の空き容量)

1280 x 1024 ピクセルの画面解像度

Adobe Acrobat Reader (ユーザーガイド PDF ファイルを開くのに必要)

www.agilent.com/chem/jp

アジレントは、本文書に誤りが発見された場合、また、本文書の使用により付随的または間接的に生じる損害について一切免責とさせていただきます。

本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。著作権法で許されている場合を除き、書面による事前の許可なく、本文書を複製、翻案、翻訳することは禁じられています。

アジレント・テクノロジー株式会社
©Agilent Technologies, Inc. 2009
Published in Japan
January 14, 2009
5990-3487JAJP



Agilent Technologies